



地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所
生物多様性センター 担当：近藤・幸田・小田
TEL：072-833-2770 FAX:072-831-0229

プレスリリース

平成 30 年 5 月 1 4 日 1 4 : 0 0

府政記者会
枚方記者クラブ 各位

**天然記念物イタセンパラの稚魚が泳ぎ出しました
生物多様性センターの展示水槽にてご覧いただけます！**

- 生物多様性センター敷地内の保存池で、今年もイタセンパラの稚魚が確認されました！みなさまにご覧いただけるよう、現在、生物多様性センター本館内の水槽にて展示しております。
- あわせて、二枚貝に産み付けられた卵が貝の中でふ化し、成長する様子を紹介する特別展示をしております。“うじむし運動”と呼ばれる、貝の中での独特な行動の動画など、普段目にするることができない様子をご覧いただけます。
- この時期にしか見られない稚魚と、謎に包まれた二枚貝の中での様子を、ぜひご覧ください。

1 概要

展示場所 地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所
生物多様性センター（寝屋川市木屋元町10-4）
本館内展示水槽

展示期間 2018年5月16日（水）～6月15日（金）



イタセンパラの稚魚。大きさは1cmほど

2 イタセンパラについて

コイ科タナゴ亜科に属し、琵琶湖淀川水系（ただし、琵琶湖そのものは除く）、濃尾平野・富山平野に分布。日本固有種。昭和49年に天然記念物（文化庁・文化財保護法）に指定。平成7年に国内希少野生動植物種（環境省・種の保存法）に指定。環境省レッドリスト絶滅危惧IA類、大阪府レッドリスト絶滅危惧I類。

生後1年で成熟し、10月頃にイシガイ等の生きた二枚貝の体内に卵を産みこむ。産卵を終えた個体は多くの場合死亡する。卵は受精後約1週間でふ化し、貝の中で冬を越し、翌年4～5月に貝から泳ぎ出る。



繁殖期のイタセンパラ（左がメス、右がオス）

繁殖期になると、イタセンパラのオスはきれいな紫色になります。メスは生きた二枚貝の中に卵を生みこむために、^{さんらんかん}産卵管と呼ばれる管をお腹から伸ばします。